

広島県三原市の維管束植物(Ⅱ): 被子植物について*

池田誠慈¹⁾・井上侑哉^{2), 3)}・久保晴盛⁴⁾・松井健一⁵⁾・中原-坪田美保⁶⁾・
武内一恵⁷⁾・若木小夜子⁸⁾・坪田博美^{2), 9)}

Checklist of vascular plants of Mihara City, Hiroshima Prefecture, Japan (2) : Angiosperms*

Seiji Ikeda¹⁾, Yuya Inoue^{2), 3)}, Harumori Kubo⁴⁾, Kenichi Matsui⁵⁾, Miho Nakahara-Tsubota⁶⁾,
Kazue Takeuchi⁷⁾, Sayoko Wakaki⁸⁾ and Hiromi Tsubota^{2), 9)}

Summary

Since the 1997 publication "Flora of Hiroshima Prefecture, Japan", a significant number of new vascular plant records have been compiled for Mihara City, Hiroshima Prefecture, SW Japan. A checklist of the vascular plants recorded from Mihara City is provided, based on the previous publications, specimens and our recent investigations. In this investigation, 1,307 species of angiosperms are recorded.

Keywords: angiosperms, Daiwa Town, flora, Hongo Town, Kui Twon, Mihara City

広島県三原市の被子植物

広島県三原市にある国の天然記念物久井岩海の調査を行うにあたり、基礎情報として文献情報にもとづく三原市の維管束植物のリストを作成した。久井岩海の維管束植物については池田ほか(2017)で報告した。その後、広島大学植物標本庫 HIRO および広島市植物公園植物標本庫 HIBG に収蔵されている標本の情報や最近の文献情報を加えて三原市の維管束植物のリストを作成した。ヒカゲノカズラ植物とシダ植物、裸子植物については、三原市の概要や研究史とともに池田ほか(2019)で報告済みである。本稿では、被子植物について報告する。なお、被子植物では APG 植物分類体系 (Haston et al. 2009 など) が採用されつつあるため、三原市の維管束植物目録の続編をまとめるにあたり、この分類体系に従うことにした。

本稿では、2020年12月時点での文献情報及び

標本のデータにもとづいて三原市の維管束植物のうち、被子植物についてまとめた。今回の調査の結果、142科600属1,307種が確認できた(種内分類群については便宜上種として数えた。以下同じ)。これと池田ほか(2019)で報告した8種のヒカゲノカズラ植物と142種のシダ植物、15種の裸子植物を合わせると、1,472種となる(種子植物は1,322種)。三原市から記録のある維管束植物は、栽培・逸出や帰化植物を含めているが、広島県全体の約53.1%にあたる。種数が多かった科はイネ科やカヤツリグサ科、キク科やマメ科、バラ科があげられる。保全上重要な植物としては、「環境省レッドリスト2020」(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室2020;以下、環境省RL2020)に該当するものが60種、「広島県の絶滅のおそれのある野生生物第3版:レッドデータブックひろしま2011」(広島県2012;以下、広島県RDB2011)に該当するものが67種確認できた。

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No.111

1) 広島大学総合博物館, 2) 広島大学大学院統合生命科学研究科, 3) 服部植物研究所, 4) 広島市植物公園, 5) 広島城北学園, 6) 千葉県立中央博物館・共同研究員, 7) 広島市佐伯区, 8) 広島市東区, 9) 広島大学大学院統合生命科学研究科附属宮島自然植物実験所

Bulletin of the Hiroshima Botanical Garden No.35:7-140, 2021.